

アスベスト問題への総合的対策 1,300百万円(13百万円)

廃棄物・リサイクル対策部適正処理・不法投棄対策室
水・大気環境局大気環境課
環境保健部企画課・保健業務室
総合環境政策局環境研究技術室
廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課

1. 事業の概要

アスベスト問題について、健康被害の拡大防止、実態把握の強化、過去の対応の検証及び過去の被害への対応を図るため、隙間のない健康被害者の救済制度の構築を始めとして、スピード感を持った総合的取組を推進する。

2. 事業計画

(1) アスベスト濃度、健康影響の調査・リスク評価等

214百万円(13百万円)

アスベストに係る工場周辺住民の健康影響や建築物の解体等に伴う環境中への飛散についての懸念に対する対応として、工場周辺住民対策及び環境汚染の未然防止等のための事業を推進する。

アスベスト廃棄物適正処理方策検討調査 20百万円(0百万円)

アスベスト廃棄物の処理状況を調査し、既存の溶融処理技術等に加え、新しい処理技術についても実証試験を行い、アスベスト廃棄物の最適な処理方策の確立を行う。

一般環境大気中のアスベスト濃度モニタリング

36百万円(0百万円)

アスベストについて、平成17年秋以降実施することとしている緊急全国調査に引き続き、建築物解体現場を中心に大気環境モニタリングを行う。

一般環境経路によるアスベスト曝露の健康影響調査

29百万円(0百万円)

中皮腫死亡者等について、居住歴や職業歴等を調査し、工場等の周辺住民における一般環境経路によるアスベスト曝露の被害の実態を把握する。

一般環境経路によるアスベスト曝露による健康リスク評価に関する調査

40百万円(0百万円)

一般環境経路によるアスベスト曝露の健康被害について、曝露の広がりや中皮腫等の発症のリスクについて評価する。

石綿の健康被害に係る医学的判断に関する調査

9 百万円 (0 百万円)

アスベストによる健康被害を救済するに当たり、対象疾患に関する医学的判定のための最新の知見を収集する。

測定技術者の育成事業

4 百万円 (3 百万円)

アスベストの飛散防止のため、大気中のアスベスト測定技術を地方公共団体の規制担当者に習得させ、技術者を育成するため講習会を実施する。

建築物解体時の石綿飛散防止マニュアルの検討

8 百万円 (1 0 百万円)

規制対象となっていない、石綿スレート等のアスベスト含有建築材料を使用した建築物を解体等する際の石綿の飛散防止に係る作業手順等について検討し、解体等工事マニュアルの素案を策定する。

石綿健康被害対策室 (仮称) 関係経費

6 7 百万円 (0 百万円)

(2) 飛散抑制対策に資する技術開発の支援

1 5 0 百万円 (0 百万円)

環境技術開発等推進費 (競争的資金) において、「アスベスト飛散抑制対策に資する研究開発領域 (研究開発の期間 : 2 力年) 」を創設し、国立試験研究機関、独立行政法人、民間企業等から、大気中アスベスト濃度の迅速な測定分析技術等、アスベスト飛散抑制対策に資する技術の研究・開発課題を公募し、優秀な提案に対して研究・開発費用の支援を行う。

(3) アスベスト廃棄物の無害化に係る技術開発の支援

1 5 0 百万円 (0 百万円)

廃棄物処理等科学研究費補助金 (競争的資金) において、アスベスト廃棄物の安全かつ適正な処理、溶融等の高度な無害化処理の技術水準向上のための技術開発を推進する。

(4) 徴収のための準備費

7 8 6 百万円 (0 百万円)

(5) 廃棄物処理施設整備費 (公共)

(92,320 百万円の内数)